

## 令和5年度第2回網走警察署協議会議事録

### 1 開催日時

令和5年11月1日（水） 午後2時00分から午後3時15分までの間

### 2 開催場所

網走警察署 会議室

### 3 出席者

#### (1) 協議会委員6名（定員7名）

会 長 大塚 寛  
副 会 長 渡邊 直子  
委 員 高橋 美和子  
白濱 敏  
原 正春  
山田 大

#### (2) 警察署員 8人

署 長 宮野 智幸  
警務課長 宮脇 教悦  
会計課長 萱森 明  
生活安全課長 堀川 悠介  
地域課長 大宮 久彦  
刑事課長 大西 真琴  
交通課長 森 和博  
警備課長 三浦 幸治

### 4 会長挨拶

本日はお忙しい中本会議に御出席いただきありがとうございます。網走警察署協議会会長の大塚です。警察署協議会の設立趣旨は、市民の声を警察署に届ける事で、これからの業務運営に役立てて頂こうという主旨でやっておりますので、今日も忌憚のないご意見を頂ければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

### 5 署長挨拶

網走警察署長の宮野でございます。前回の1回目の協議会以降、大きな事件事故がなく推移しております。涼しくなった秋に入り、色々な案件が入ってきているため、忙しくなっておりますが、北海道警察本部や北見方面本部から応援をいただきまして、全容解明するために鋭意対応を進めております。

その一方で、網走市役所港湾課、海上保安庁、警察が合同で、第四埠頭のソーラスゲート内でテロ対策として、海上からテロリストが船で上陸し爆発物を所持しているとの想定で訓練等も実施しております。

本日の協議会で皆様から多様なご意見を頂きながら、今後とも気を引き締めて取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 6 概況説明及び諮問事項

#### (1) 令和5年9月末現在における事件事故の発生状況

- ア 犯罪の発生及び検挙状況、子どもや女性被害の犯罪状況、特殊詐欺被害状況
- 委員 資料にあるとおり、暴行・傷害の発生が非常に多いように感じるのですが、傾向として顔見知りという関係性とか、知らない者同士が酒を飲んでいて揉めたとか、どういう状況が多いのでしょうか。
- 警察 もちろん、酒席での知らない者同士の揉め事というものもありますが、いわゆるDV事案だとか、親族間トラブルからの暴行や傷害というものが、かなりの数を占めています。
- 委員 万引きについては、未成年と成人の割合はどちらが多いのでしょうか。
- 警察 成人の方が多く未成年の万引きは極めて少ないです。
- 委員 高額な特殊詐欺で数千万という被害がありますが、これだけ特殊詐欺が騒がれている中で、被害に遭う方の心境とはどういうものなのでしょうか。
- 警察 高額になっているものは、投資名目の手口で、被害者に遭っている方は投資に興味があり、これまでの投資で負けていたりして、必ず取り返せる等の甘い言葉に乗ってしまい被害に遭うというパターンが多いです。
- 最初は少額で儲かっているという数字を被害者に見せつつ、さらに投資を煽り、いざ現金化しようとしたり口座に振り替えようとすると相手と連絡が取れなくなってしまうています。
- パチンコで数万円負けてしまって、その日のうちに取り返せると考え、追い金をする心境と似ているものがあるかも知れません。
- 委員 お金の話を店舗でやり取りをせず、メールでやり取りすることが、通常の心理状態とだまされる心理状態の違いになってくるのでしょうか。
- 通常で考えたら基本的にはあり得ないと思うのですが、例えば、パチンコ等であれば現物がありますが、今回のような手口は、何も無い中での話ですので、つけ込まれやすいのかも知れませんね。
- 警察 通常の特特殊詐欺と違うのは、相手から連絡が来て応じるのではなく、表示されているものに被害者からアクセスしてしまうところで、本人は、これは儲かるかも知れないと思込み、深みにはまる点が他の詐欺とは違うと思います。
- 委員 最近は、投資詐欺ばかりなののでしょうか。
- 警察 詐欺にも流行がありまして、こういった投資詐欺が増えている他、コンピューターウイルスの除去名目の詐欺が流行っていて、以前は、犯人が実際に家に行って面接する等の手口も有りましたが、最近は、非接触型であれば逮捕のリスクが少なくなると考え、この様な手口が多くなってきていると考えられます。
- イ 交通事故の発生状況及び冬型交通事故の特徴、鹿との接触事故の特徴
- 委員 鹿との接触事故の発生は、郊外や山間部の道路での多いのは予想が付きますが、国道や道道でも発生しているのでしょうか。
- 警察 国道では、国道238号、244号での発生が多い状況です。
- 道道では、大観山公園線、呼人地区や東京農業大学付近での発生が多い状況で、山間部と言えない場所も含まれています。
- ニュースでは、保護制度やハンターの減少で鹿の頭数が増加していると言われており、身体特徴として足が長いため重心が高く、車と接触するとボンネットに乗ってしまい、フロントガラスにぶつかり易いほか、体重も200kgを超えることもあり、非常に危険で重大事故に直結する可能性が高いものになります。

幸いにして現在まで、鹿との接触での重大事故は発生していませんが、一日何件も発生したり、日によって鹿が出没するエリアが異なるなど、対策が難しい現状にあります。

(2) 犯罪発生防止に向けた網走警察署の取組みについて

令和5年10月10日、東京農業大学オホーツクキャンパスで実施したSOS47（ストップ・オレオレ詐欺47）水島美結氏（AKB48メンバー）を招いた特殊詐欺及び闇バイト啓発イベントに関する説明（道内初の開催）

委員 私も会場にいましたが、少なからず学生にも意識付けできたと感じております。

学生も親元を離れている者が大半で、祖父母と会う機会は年に1回もあるかどうかだと思いますが、そういった高齢者の家に孫を騙り涙声で無心を頼まれた日には、被害に遭う可能性があるのかなと感じます。

学生の祖父母が被害に遭うことがないように、これからも啓発に協力していきたいと思っております。

(3) 密漁対策に関する取組みについて

委員 漁業関係者や私どもの密漁対策協議会から、鮭の密漁対策をお願いしてきたところですが、警察からの報告として、夜中から朝方の大変な時間帯にご尽力頂き大変ありがたく思っており、この場を借りて感謝申し上げます。

釣りの中で規則に従わず、犯罪だと分かって川に遡上している鮭を取る者達には、一般の我々が現場に行ってもなかなか出来るものではなく、取締り権限のある警察に頼るしかないので、今後とも宜しくお願いします。

(4) 被害者支援特化条例の制定に向けた現状について

(5) その他意見・要望

委員 冬になると交通量の多い道路沿いの交差点や出入口に付近の積雪が多くなり、見通しが悪くなるため、交通事故防止の観点から道路管理者に対して警察からも見通し確保のための要請をして頂きたい。

警察 分かりました。行政機関や道路管理者と協力して対応していきたいと思っています。

7 懲戒処分に関する報告

8 犯人制圧に向けた実践的訓練の見学

9 次回の開催予定

令和6年2月中を予定